

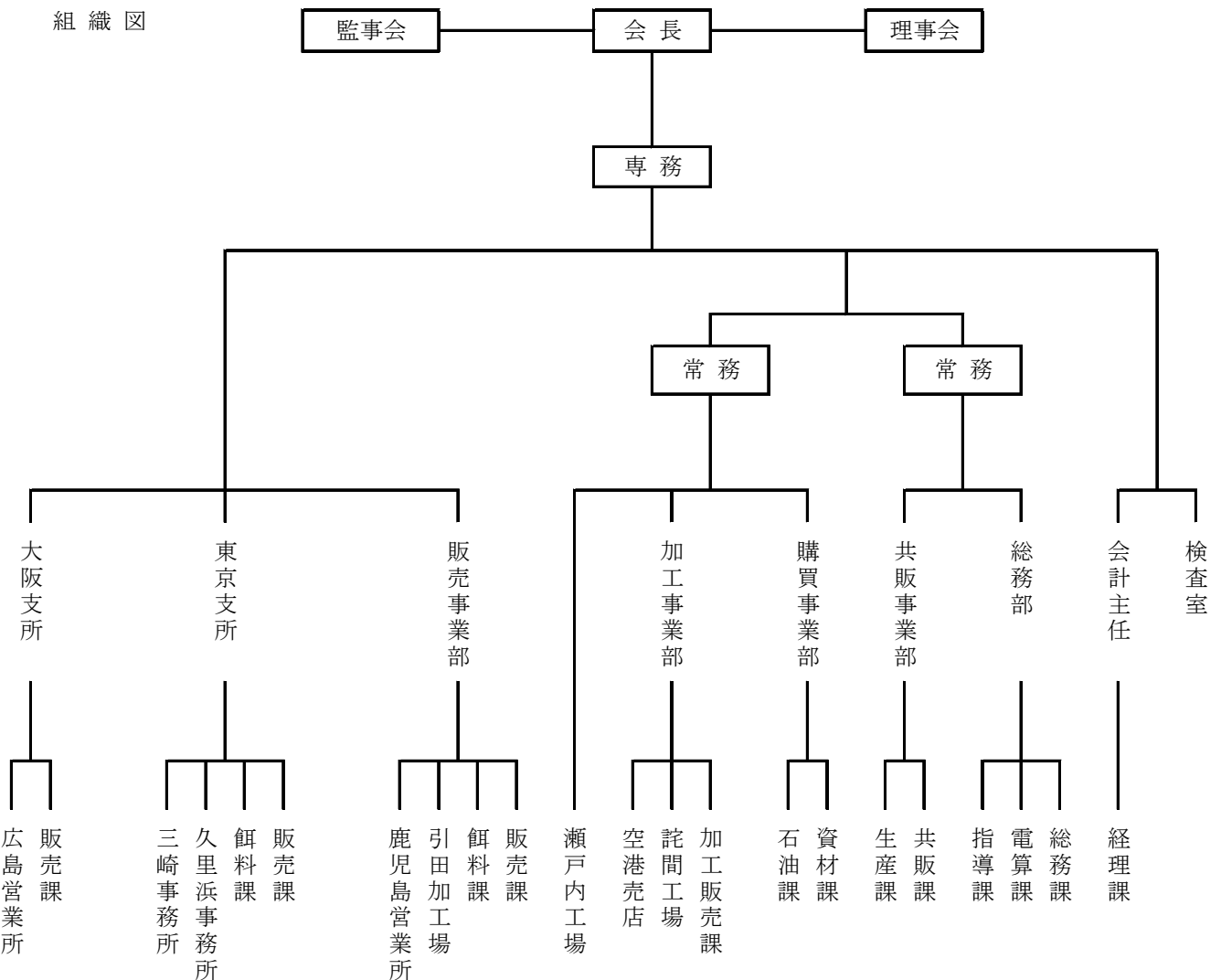
人と魚と海のネットワーク 香川県漁連ホームページ http://www.jf-net.ne.jp/kagyoren/		 高松市北浜町8-25 TEL 087-825-0350 FAX 087-851-0699 JF香川漁連
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

平成26年度新組織

機構改正

(1) 東京支所に餌料課を新設。

組織図



主な人事

氏名	〈新〉	(旧)
島 雅 彦	共 販 事 業 部 部 長	共 販 事 業 部 次 長 共 販 事 業 部 生 産 課 課 長 兼 務
松 本 茂	加 工 事 業 部 部 長 代 理	販 売 事 業 部 部 長 代 理
野 崎 正 晃	販 売 事 業 部 次 長	販 売 事 業 部 販 売 課 課 長
松 原 正 人	経 理 課 課 長	東 京 支 所 販 売 課 課 長
伊 藤 久 志	共 販 事 業 部 共 販 課 課 長	加 工 事 業 部 加 工 販 売 課 課 長
串 橋 照 彦	共 販 事 業 部 生 産 課 課 長	共 販 事 業 部 共 販 課 課 長 補 佐

氏名	(新)	(旧)
赤坂元春	販売事業部販売課課長	販売事業部販売課課長補佐
岩井克人	東京支所販売課課長	東京支所販売課課長補佐
竹本祥二	東京支所餌料課課長	東京支所販売課課長補佐
藤原一弘	総務部電算課課長補佐	総務部電算課副調査役
岡本慎一	東京支所販売課課長補佐	東京支所販売課主任

新人職員奮闘記

総務部総務課 西本 汐里

平成25年度より総務部総務課でお世話になっております西本汐里です。今後ともよろしく願い致します。

私が漁連に入会してはや1年が経とうとしています。振り返るとあっという間の1年だったと思う反面、やっと1年か…と思うほどとても深い1年だったと思います。今まで学生としてただ授業を受けて、部活して、休日は気楽に遊んで…という日々を送っていただけの私がいきなり「社会」という世界に放り出されたような感覚で、自分の未熟さを実感するとともに、社会人としても成長できたと思います。社会人としての知識もほとんどなく、そのうえ覚えることが苦手だったので入会当初はとにかく自分の未熟さを実感する毎日でした。しかしそんな私に周りの先輩方が気軽に声を掛けてくださり、丁寧に指導していただき、前向きに取り組むことができました。

入会した当初私が一番怖かったのは電話対応です。まだ全部署・職員の名前・企業の名前もほとんど知らない状態で、受話器を取る手がすごく重たかったのを覚えています。電話で明るく出ようと思っても、不安が表へ出てしまっていました。初めて聞く企業の名前を突然言われてメモが間に合わず焦ってしまったことや、相手の言葉が聞き取れず間違えて伝えてしまったり等いろんなミスをしてしまいました。そんな中で「もう少し明るく」など言ってくくださる方々もいて毎日意識して電話に出ることを心掛けました。日が経つにつれて企業の名前や人の名前を覚えられるようになり少し心に余裕ができてくるようになった時、電話の相手に「声が明るくなった」と言ってくれたときはとても嬉しかったです。まだ不十分なところはありますが、ある程度は自分で相手に聞き、対処できるよう心掛けていきたいです。

自分のしてきた業務を振り返って総務での仕事は1つ1つがいろんなことに繋がっていると思いました。入会当初主にして文書発送では、毎日の業務で各部署からの発送書類に書かれてある企業名を少しずつ覚えることができ、そこからこの企業はこの部署ということが分かるようになりました。タイムカード作成では職員の名前と部署、アラーム当番では席や顔を覚えられたりなど、何かをする度気付くことが多く毎日が発見でした。

そんな中でも一番嬉しかったことは自分の特技が生かされたときです。私は幼いころから書道を習いそれだけが自分の唯一の取り柄だったので、頼まれたときはとても嬉しかったです。実際総務の業務には関係ないことかもしれませんが、小さなことでも自分の特技が役に立てたことで、自分自身に自信を持つことが出来ました。

まだまだ分からない事、至らない点も多くご迷惑をおかけすることもあると思いますが、少しでも本会に貢献できるよう日々頑張っていきたいと思っておりますので、ご指導のほどよろしくお願い致します。また組合の方々と交流する機会は少ないですが少しでもお役にたてるよう頑張っていきますのでよろしくお願い致します。

購買事業部資材課 中嶋 薫

平成25年度より購買事業部資材課でお世話になっております中嶋薫です。今後ともよろしく願い致します。

私が本会に入会して1年が経とうとしています。本当にあっという間に過ぎましたが、数多くの経験をさせて頂きました。

4月初、各組合はもちろん、漁師さんの自宅や工場場所をしっかりと覚えることから始まりました。そして、魚箱や漁網などの幅広い種類の資材の規格や用途を把握するのは大変でしたが、上司が丁寧に教えてくださるので知識は以前より豊富になったと思います。ですが、資材の種類は多く、私が得た知識はほんの一部でしかないので、毎日が勉強です。

また資材課の業務以外に、他部署への応援にも行かせて頂き、普段では見ることができないものを自分の目で見られたり、貴重な経験をさせて頂きました。特に伊吹いりこの箱積み作業では、不慣れということもあり前取りがある度に、ご迷惑ばかりかけてしまいました。次の応援の機会があれば、しっかり戦力として働けるように準備していきます。

9月頃からは海苔網の集荷などで県外に行く日が増え、初めてのことばかりで不安しかなかったのですが、来年からは一人で日程を決めるなど、独り立ちができるように頑張ります。そして冬場にかけて海苔の時期が本格化すると、毎日のように海苔ケースの注文があり生産者の工場や組合に納品するという日々が続きました。非常に忙しい日が続き、毎日のように怒られましたが、とても充実していたと感じています。伝票の処理においては、月締めの前までに済ませられるよう毎日一枚ずつでも処理していきます。

まだまだわからないことが多くご迷惑をかけると思いますが、少しでも本会に貢献できるよう日々邁進していきますので、今後ともご指導の程よろしくお願い致します。

総務部指導課 宮武 加奈

平成25年度より総務部指導課でお世話になっております宮武加奈です。今後ともよろしくお願い致します。

私が香川県漁連に入会してから1年が経とうとしています。振り返ってみますといろいろな新しい経験や知識を得ることができ、あっという間に1年が過ぎたように感じます。

現在、私は指導課で漁協経営指導の補佐や無線組合や漁青連の事務局の補佐などをしています。入会してすぐに決算事務指導ということで決算組合を回りましたが、簿記の知識がなかった私には本当に何をしているのか、何をすればいいのかわかりませんでした。その際に優しく丁寧に教えて下さり少しずつですが覚えていきました。1年が経ち、また決算組合を回っていますが、少しずつ何をしなければいけないか分かってきました。

また指導課は無線組合や漁青連の事務局や組織強化対策室の業務などがあり、会議に出た際には議事録を書く機会が多くあります。話している内容をそのまま文章にする場合や発言をまとめて書く場合などがあり、要点をまとめることが苦手ななかなか上手く書けなかったり、初めて聞いた言葉で何を表しているか分からなかったりしていますが、上司の

の方々に何度も見ていただき訂正してもらったり、何を表しているか教えてもらうことでどのように書けばいいか、何を表しているか少しずつですが分かってきた気がします。

他にもイベントや引田加工場に応援に行き、販売促進等の手伝いなども行いました。大学のときから魚食普及には興味があったので、生の消費者の声を聞いてとても新鮮でした。

最後にまだまだ無知で、勉強することがたくさんありますが、少しずつ知識をつけていき組合の方からの質問も即答できるように、本会に少しでも貢献できるように努力していきたいと思っております。皆さまにはご迷惑をおかけすることもあると思っておりますが、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひいたします。

販売事業部引田加工場 藤田 諒

平成25年度より引田加工場でお世話になっております藤田諒です。今後ともよろしくお願い致します。

私が、香川県漁連に入会してから1年が経とうとしています。入会式の際に引田加工場配属の辞令を頂いて現場の仕事にたずさわる事は分かりましたが、研修期間中に一度も加工場内の作業を見ていなかったのが自分に出来るか不安で一杯でした。黒石工場長から仕事内容を説明していただき加工場での仕事内容を少しはイメージできましたが、実際加工場での仕事が始めると何をしていたかも分からず、戸惑うことばかりでした。そんな時、加工場の皆さんが出来るまで一所懸命に教えてくださいました。

私の最初の仕事は締めの中には魚が入ったカゴ引きや、引いたカゴをコンベアに載せることでした。私は、締めを見るのも初めてですし締めたことも無かったので、締めをしてみたいと思っていました。すると、「藤田も締めをしてみるか」と言って下さったので、やらせてもらったのですが、皆さんは簡単に締めているのに、実際私がやってみると、皆さんのスピードについていけず全く出来ませんでした。早く締められるようになりたいと思い、締めをしている皆さんにどうしたら早く締められるのかを聞いたり見て真似してやってみたりしました。見たり聞いたりしながらやっていく内に私も少しずつ締めるスピードが早くなっていくのを感じました。

また、加工場の中では、魚のヒレ切りや、腹かきといった作業をしていましたが、入会をしてから4

ヵ月が過ぎてからやっと包丁を握りました。私は左利きなので、包丁を握る利き手を直すのに大変で直すことができるのか心配になった時もありましたが、諦めずにやってみると少しずつ包丁の扱いになって魚をさばけるようになりました。また、魚を真空にし流れてきた魚のキロ数をそろえて、出荷先の製品をつくるのが、大変でした。

他の作業では、箱詰めをしているのを見て見ると、簡単にできそうだなと少し思いました。しかし、実際やってみると、とても大変な作業で現在も箱詰め作業をしていますが、まだ完璧に出来ているとはいえないので完璧に出来るように頑張りたいです。

まだまだ、未熟ですが精一杯、仕事に取り組んでいきたいと思っていますので皆様のご指導の方よろしくお願ひいたします。

加工事業部加工販売課 曾我部 千穂

平成25年度より加工事業部でお世話になっております、曾我部千穂です。今後とも宜しくお願ひ致します。

私が本会に入会して、はや1年が過ぎようとしています。加工事業部に配属された当初、漁連で営業として働くということがよく分かっていませんでした。まず、加工事業部において重要な業務である「煮干の入札」を主宰するのも漁連、買付けをするのも漁連というシステムに驚きました。漁連という組織が、普通の会社と同じように仕入れて売るというイメージが全くなかったからです。それと同時に煮干や漁師さんに対して敬意を払い、大切に扱っているのだと感じました。そしてとてもやりがいのある仕事であると意欲が湧ききっかけにもなりました。

この1年、したこと、感じたこと、すべてが新鮮で、驚きと発見の連続でした。そして、失敗からも成功からも学ぶことはたくさんありました。

入会当初、電話対応をする際、緊張して上手く聞き取れず、先輩方をはじめ、たくさんの方々に迷惑をかけてしまいました。また伝えたいことも上手く伝わらず、とても苦労しました。現在は先輩方のフォローもあり、簡単な対応はできるようになりましたが、まだまだ頼り気味なので、堂々として対応できるように努力したいと思います。また、外回りの営業についても、先輩方にいろいろなところに連れて行ってもらいました。多種多様な業界の方々と話をさせていただき、たくさんの知識を得ることができました。そして何より先輩方と取引先の担当者の方との強い絆を感じ、信頼とコミュニケーションの大切さを教わりました。

煮干の入札が始まり、部署内が忙しくなった夏頃、私は初めて1人で営業にでかけました。緊張したな

か、約束の時間の1時間以上前に着き、取引先の建物付近をウロウロしながら、靴の中のサンプル商品と資料を何度も確認したことを覚えています。商品の採用が決まった時、少しだけ自信が持てました。加えて、それまでに先輩方から教えていただいた営業の手法と意味がここで少し理解できた気がしました。これからもこの感覚を忘れずにやっっていこうと思います。

現在はいくつか取引先を担当し、試食販売やイベントに参加するなど少しずつですが、営業活動を行っています。取引先には電話を入れたり、直接出向いたりして、顔を覚えてもらい、先輩方のように絆を作ることを大切にしています。また、配属当初から、時々煮干の加工場に入り、商品の行き先、煮干の質を加工場のパートさんたちと話をしながら、また違った視点でみつめることも心がけています。これからもたくさんの方から話を伺い、皆さんから愛される、よりよい商品を作ることを目標に、先輩方からご指導を受けながら、頑張っていきたいと思っています。

まだまだ経験不足で、学ぶことが多く、今後も皆さんにたくさんの迷惑をかけると思います。少しでも早く、本会に貢献できるように努力致しますので、ご指導の程宜しくお願ひ致します。

漁青連下草刈り作業への参加報告

各漁協青壮年部及び水産関係団体、森林組合等から23名が参加し、3月8日(土)に漁青連が昨年植樹したさぬき市長尾名字東ノ谷にて下草の刈取り作業が行われました。

作業当日は晴れていましたが最高気温10℃と寒い条件下のもと、参加者は苗木の回りに生えた小さい竹を刈ったり、山桜40本とくぬぎ30本を補植したりと寒さにも負けず作業に当たっていました。



草刈り作業に汗を流す参加者